

●展示会に行つて、意見を出しましょう

～どの子ども「わかつて楽しい」学校に～

どの教科も、これらの教科書を使って授業が行われるようになると、子どもたちが大変そうです。「道徳」の教科書に対する意見が集中した箇所では、今回、内容が変更されたところもあります。誘い合つて展示会に行き、教科書を手にとつて率直な感想・意見を教育委員会に寄せましょう。

- 教科書採択にあつては、子どもたちと一緒に教科書を使う先生たちや市民の意見をしっかり聞き、それを尊重して選んでください。
- 今使っている教科書よりページ数が多く、内容的にも難しくなっていると感じました。実際に使う時には、子どもたちの負担にならないように、また、「ついていけない」子どもが出ないよう、工夫してほしいです。
- 授業の流れが詳しく書かれていますが、それにしばられず、先生が子どもたちの様子を見ながら、適切に授業できるようにしてほしいです。
- 「道徳」以外の教科でも、子どもたちに「あるべき心」を押し付けるような書き方をしている教科書があり、気になりました。
- 教科書では真理・真実を大切にしてほしいです。侵略戦争を賛美したり、憲法に保障された基本的人権や民主主義をないがしろにする教科書は、採択しないでください
- 〇〇社の〇〇科の内容に問題を感じました。具体的には、……
- 〇〇社の〇〇科に、ぜひ使してほしい教材がありました。具体的には、……
- 子どもの心を自己評価させるのは、やめてほしいです。「〇〇」社など、そのためのページや記入欄がたくさんある教科書は採択しないでください。
- 「英語」の教科書はどれも難しそうで、子どもが英語嫌いになってしまうのではないかと心配です。先生たちや子どもたちの負担が大きくなるよう配慮して下さい。

小学校新教科書を読む

学習指導要領の改訂にともない、この夏、来年度から小学校で使われる新しい教科書の採択が行われます。発行された教科書は、以下の通りです。

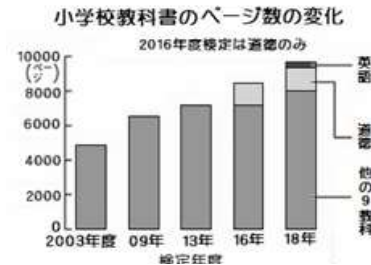
この冊子は、その特徴をまとめたものです。展示会で実際に内容をたしかめ、意見を出すとりくみを広げていきましょう。

教科	学年	発 行 者		
国語	国語	1-6年	4社	光村、教出、学図、東書
	書写	1-6年	5社	学図、光村、教出、東書、日文
社会	社会	3-6年	3社	日文、教出、東書
	地図	3-6年	2社	東書、帝国
算数	1-6年	6社	学図、大日本、日文、教出、啓林館、東書	
理科	3-6年	6社	信教、東書、大日本、啓林館、教出、学図	
生活	1-2年	8社	信教、東書、日文、啓林館、学図、光村、大日本、教出	
音楽	1-6年	2社	教芸、教出	
図画工作	1-6年	2社	日文、開隆堂	
外国語	5-6年	7社	光村、東書、三省堂、啓林館、教出、学図、開隆堂	
家庭	5-6年	2社	東書、開隆堂	
体育	保健	3-6年	5社	東書、光文、大日本、学研、文教
道徳	1-6年	8社	東書、教出、光村、あかつき、学研、日文、学図、光文	

●ページ数がふえて、ランドセルも重く…

6年間で使う教科書のページ数の合計は、いま使っている教科書の10%増し。新しく入れた英語を入れると14%増しです。グラフのように、教科書の内容が変わる度に、ページ数が増えています。

教科書が大きく厚くなると、ランドセルも重くなってしまいます。来年の4月から、小学校4年生以上はほとんど毎日6時間授業です。子どもたちの負担がいつそう増えてしまうのではないかと心配です。



●これまで以上にむずかしい内容に

算数を例にとると、小学校5年生の子どもたちにとって、「割合」の学習は“難関”の1つです。新しい教科書では、6社のうち4社で、4年生のうちから「割合」の学習を始めることになっています。

また、いま5年生でやっている次のような問題が、2年生の「分数」のページに登場しています。

2分の1にしたテープの長さは、4cmでした。
元の長さは、何cmでしょうか。

2年生に
むずかし
くない？

◎「プログラミング教育」が始まる

さらに、算数や理科、図工、家庭科、英語には、4月から全校で実施される「プログラミング教育」も載っています。



【大日本・算数・6年】より

教科書検定と社会科の教科書

●気になる「領土問題」の説明

領土問題が、5年生、6年生でくり返しとりあげられています。説明のしかたも、検定によって次のように修正されました。

- ・「日本の領土」⇒「日本固有の領土」
- ・竹島を「韓国が不法に占拠しています」
⇒そのあとに、「日本政府は抗議を続けています」と追記
- ・尖閣諸島については「領土をめぐる問題はない」
⇒「領土問題はない」

日本政府の見解だけをくり返すよりも、歴史的な背景を示して、子どもたちに考えさせたほうが、勉強になるのではないのでしょうか。

●「憲法改正」、原発事故の扱いは？

「憲法改正」を、ことさらにとりあげている教科書があります。

原発事故の写真に「安全には十分に注意していたはずですが、予想以上の地震や津波の被害によって爆発事故を起こしました」と説明した教科書もあります。



【東書・社会・6年】より

●歴史の事実を正確に伝えている？

「ヤマトタケル」などの神話が、どの教科書にも登場しています。また、どの教科書も「日露戦争の結果がアジアの人々に勇気を与えた」などと、一面的な歴史認識に貫かれていることも重大な問題です。

●心のおしつけじゃない？

理科の教科書で、「学ぶ前の自分」と「学んだあとの自分」をふりかえって書き込む欄をつくっている教科書がありました。

「学んだあとの自分」をふりかえる観点は、次のようなことです。

- (1) 学ばななかでよいと思った友だちの考えを、記ろくをふり返って思い出し、理由とともに伝えあいましょう。
- (2) 学んだことは、自分にとって役に立つと思いませんか。どのようなことに役にたつと思うか、かきましょう。

【東書・理科・全学年】より

実験や観察を通して新しいことを発見したり、ふだん気にとめていなかったことについて「なぜだろう？」と考えたり、……子どもにとっては、学ぶことそのものが楽しいもの。それで十分ではないでしょうか？

「学んだことがどのように役に立つか」まで考えて、書かなければならないなんて、これからの子どもは大変です。

●どの教科も「道徳」みたい?!

子どもたちに“心”や“態度”をおしつけているのではないかと、気になるページがあります。

たとえば、右のように、家庭科で針と糸を使って縫い物をする単元のテーマが、「ひと針に心をこめて」。

社会科でも、地域の歴史を調べる学習のまとめとして、村の人々を救うために通関橋を作った人物に「表彰状を書こう」を例示している教科書がありました。



【東書・家庭科・5年】より

はじめての「英語」教科書は？

7社から発行されていますが、どの教科書も、文部科学省が発行した教材「We Can!」と共通した内容で構成されています。

●いきなり英文、大丈夫！

目次からたくさんの英文が並んでいます。1年生の国語のはじめのように、絵が中心のページもありますが、これを見て英語で話さなければなりません。



【学図・5年】より

●「習うより慣れる」と言われても……

「名刺交換をしよう」「誕生日はいつ？」など、言語や文化を学ぶというより、英会話に慣れさせるための活動が中心です。

そのため、「What would you like?」(どれにする?)など、文法的にもむずかしい言い回しが出てき



【光村・5年より】

たり、それに答えるためにたくさんの単語が紹介されたりしています。5～6年生の間に600～700語の単語・連語を習わなくてはなりません。理屈抜きで丸ごと覚えなければならないのは、子どもにとって大変なことではないでしょうか。



【啓林館・5年】より

●授業のながれや内容を細かく提示

どの教科も、「課題をつかむ」⇒「調べる」⇒「まとめる」⇒「生かす」などと授業の進め方が示され、それにそって学習の内容が書かれています。



【光村・国語・3年下】より

「課題をつかむ」と言いながら、「学習課題」が書かれていたり、調べる内容や課題を考えるヒントが詳しく書かれていたりします。左のように、先生の質問に答えるヒントが吹き出して載っていたりします。

子どもたちにとっても先生たちにとっても便利なようですが、「教科書に載っていることをなぞるだけでは、決められたルールの上を走らされるようなもので、みんなで意見を出し合い、新しい発見ができるような、楽しい授業になりにくい」という批判の声もあります。

「教科書通りに」とおしつけるのではなく、先生が子どもたちの様子に合わせて、いろいろ工夫しながら授業できるようにしてほしいものです。

◎教科書は、すべてのページを使わないといけないの？

「必ずすべてのページを使わなくてはいけないというものではありません」という裏表紙の断り書き【日文・道徳・別冊】に対し、「教科書ではないかのように誤解するおそれがある」という検定意見が付き、その部分が削除されました。文科省が「教科書は、すべてのページを使わなければならない」と言っていることになるのではないのでしょうか。

道徳の教科書は、どう変わった？

●批判を受けて、なくなったものもあるが…

安倍首相の写真を掲載したり、「正しいあいさつ」を問うなど、批判されていた題材の中には、今回なくなったものもあります。

しかし、全体としては依然として、「規則を守る」や「愛国心」など、文科省の定めた価値観をおしつける内容がほとんどです。

「義務を果たさない人は、権利を主張することはできません」などと、権利と義務を並列させたものも目につきます。

一方、子どもの権利条約や世界人権宣言を扱う教科書が増えました。戦争と平和、人権などについて考えることのできる題材もあります。



【あかつき・5年】より

●自己評価のページがふえている

1時間ずつの授業に対する態度や気持ちを書き込んだり、花びらに色を塗るなど段階的に自己評価させるページが増えています。

それだけでなく、「うそやごまかしをしないであかるい気持ちで過ごすことができれば、一つ色をぬりましょう」「きちんとあいさつができれば色をぬりましょう」などというページのある教科書もあります。



【学図・1年・別冊】より